

## 実験計画書作成上の注意への追記 (2)

藤田茂\*

2015年11月4日

計画書作成上の注意（報告書も同様である）を再読すること。

<http://goo.gl/ScWxTU>

実験計画書の作成に、**3時間**は必要であると見込んでいる。十分に時間をとって作業を行うこと。実験報告書の作成にも、同様に3時間は必要であると見込んでいる。十分に時間をとって作業を行うこと。

利用するアセンブラは AVR AT Mega 168P のものである。情報処理技術者試験で利用される CASL, CASL II では無い

実験報告書に、プログラムのソースコードの添付が無ければ、十分な考察は記述できない。

---

\* fujita@cs.it-chiba.ac.jp